

CASE STUDY

国際認証取得と質保証 名古屋商科大学

世界的な評価機関から2つの国際認証を取得している名古屋商科大学。同大学が考えるグローバル教育、教育の質保証への考えについて、理事長に聞いた。

国際通用性の高い 教育体制を構築

世界的に学生のモビリティが高まる中、国際的に通用する教育の質が問われています。ビジネス系の大学においては、経済活動のグローバル化が加速する中、ドメスティックな教育のままではいけません。欧米のビジネススクールでは国際認証の有無で卒業生の人生が大きく変わります。本学は2つの機関から国際認証を得ています。2006年にはビジネススクールの国際認証機関として最も歴史あるAACSBから、2009年には英国のMBA認証機関AMBAから認証を取得しています。取得の理由は「国際通用性の高い基準で教育の質を保証すること」に加え、「同様の国際認証を取得している高等教育機

関とグローバルなネットワークを構築すること」にあります。これにより、欧米を中心とした優秀な外国人留学生は15%を超え、日本人学生の送り出し先に関しても、国際的に評価の高い大学を選んで提携できています。その結果、英フラインシヤル・タイムズの社会人MBAランキングでは国内1位と評価されました。本学の教育の特徴は、ケースメソッドを取り入れたアクティブラーニングにあります。事例を教材に学生同士が討議し、答えを導き出す教育手法で、以前から大学のMBAコースで導入していました。そこで得た知見と教授法を、学部の教育にも展開しています。参加者中心の学びへの転換により、学生は授業中に積極的な手を挙げます。成績は定期テストではなく授業中の態度や発言内容で評

価するため、毎日の授業が本気なのです。本学の学びに合う学生獲得のため、入試は面接重視でコミュニケーション力を見ます。なお、このような学修環境はビジネススクールの世界では国際基準であり、国際認証上も必須のもので、教える側にはフアシリテーション、コミュニケーションスキルが求められます。そのため、教員はハーバード・ビジネス・スクールでトレーニングを受けるなどFDの国際化も進めています。

経験値を高める 海外プログラム

近年、企業の採用活動において通年採用が広がっており、今後は新卒生にも実践的な力が問われるようになるでしょう。実践的な経験値を高めるため、本学ではケ

スメソッドを取り入れ、海外でのフィールドワーク系プログラムへの参加を促しています。「内向き志向」の日本人学生の背中を後押しするために、各種留学制度のほか、海外の若者と協働する国際ボランティア、ASEANでのインターシップ、二人一組で行う「世界一周留学」などのプログラムを用意しています。2018年には留学が必須の国際学部を設置しました。学内に留学経験者を増やし、「留学するのが当たり前」というカルチャーを浸透させるのが狙いです。海外留学奨学金制度の拡充により、費用のハードルも下がっています。前年、本学では日本で初めてAACSBの国際会議を開催しました。今後も世界の教育の潮流を常に意識し、教育の国際競争力強化に努めていきます。



理事長 栗本博行

くりもとひろゆき ● 1998年神戸大学経営学部卒業。大阪大学経済学研究科にて修士(経済学)、博士(経済学)を取得。名古屋商科大学経営学部教授、同学部長。主な研究対象は製品開発戦略。同大学ではMBAプログラムの構築からカリキュラムの編成まで幅広く携わる。

取材・文／本間学 撮影／佐野克典

学生数／約3300人
学部／国際、経営、経済、商
大学院／マネジメント研究科(修士)、会計ファイナンス研究科(修士)
THE世界大学ランキング日本版2018／国際性7位

めざすグローバル人材像 > 21世紀のグローバル・ビジネス社会で情報活用能力とコミュニケーション能力により、自己の可能性を最大限に発揮できる人材

BBA-Bachelor of Business Administration (経営学部・商学部) の学生のモデルケース

	入試	1年	2年	3年	4年
教養・専門教育 ●AO方式：集団討論により探求心、議論の姿勢、積極性を評価 ●一般推薦：書類審査と個別面接により資質を評価 ●一般入試：英語100点+選択科目100点+面接100点 ●センタープラス入試：面接100点+センター試験利用100点+個別試験(1教科)100点		全授業が実存する企業ケースを議論するアクティブラーニング型			
		教養／専門基礎科目	教養／専門基礎科目	▶専門科目：ビジネススクール教育(MBAの基礎科目など) ▶ケースライティング(企業事例を書く卒業課題)	
			Business English	Business Negotiation	
語学教育 ●一般入試：英語100点+選択科目100点+面接100点 ●センタープラス入試：面接100点+センター試験利用100点+個別試験(1教科)100点		TOEIC対策講座(任意)			
		海外フィールドワーク 夏季休暇を利用して、海外の若者と協働で行う国際ボランティアの他に独自の研修テーマに基づきヨーロッパを巡るギャップイヤープログラムや80日間世界一周などのGlobal Field Study Programなど	海外インターンシップ CAPI(ASEAN諸国) 海外の日系企業で働き、自主性、主体性を伸ばす	海外交換留学ダブルディグリープログラム EXCHANGE PROGRAM AT NUCB GLOBAL PARTNER DOUBLE DEGREE PROGRAM AT NUCB GLOBAL PARTNER	

注目! 実践的なマネジメント教育を 学部教育の段階から展開

名古屋商科大学は2019年度より、経営学部・商学部にBBA(Bachelor of Business Administration)コースを設置する。アクティブラーニングに特化したこれまでの「都心型コース」の教育内容をブラッシュアップし、名称を変更するものだ。BBAの教育課程は単なる経営学部・商学部としての学修とは異なり、実践的なマネジメント教育を行うビジネススクールの色彩が強くなる。学生は事前に与えられたビジネス事例を読み解き、そこにある課題に対して予習レポートをまとめる。授業に入る前に少人数のグループセッションで議論し、授業ではクラス討議で課題解決への分析を深めていく。このプロセスを通じて、知識の習得だけでなく、行動に結びつく主体性を育てていくという。このコースでは定期試験を実施せず、クラス討議での発言回数とその内容など、授業への

貢献度を成績評価の対象としている。

BBAコースの開設に先立って、全ての講義を英語で行うグローバルBBAコースが2018年9月からスタートしている。グローバルBBAコースには日本人学生も受け入れるが、基本的には留学生が対象になる。国際認証を取得しているため、留学生からの信頼度が高く、学生募集には苦労してはいないという。

「この2つのコースはフラッグシップモデル。ここで得た教育ノウハウを、これらのコース以外の学部教育にも取り入れていきたい」(栗本理事長)。



教員がファシリテーターとなり、クラス全体で討議を行う

*1 Association to Advance Collegiate Schools of Business
*2 Association of MBAs
*3 Financial Times Ranking 2018